

県外大会へ県代表として参加するに当たっての注意事項

沖縄県ボウリング連盟・沖縄県高体連ボウリング競技専門部

1. 「沖縄県代表選手」であることを自覚し、選抜された立場(人物)と小中学・高校生として以下の点に注意すること

- (1) 代表選手としてふさわしい態度をとれること
 - ①話を聞く態度 ②身なりや姿勢、服装 ③他の選手や監督への敬意 (感謝の心)
 - ④同じ県代表選手の応援姿勢 (「チーム沖縄としての戦い」 という意識をもつ)
- (2) ふさわしい行動をとれること (出発から帰沖まで)
 - ①団体行動のルールを守る ②派遣先などで勝手な行動をしない ③安全が第一
- (3) きちんとした身だしなみができること (TPO: 時、場所、場面に合った身なり)
 - ①出発、帰沖は基本的に各学校の制服 ②現地での移動はスポーティで派手すぎない服装
 - ③化粧や一部アクセサリ等の禁止 ④ほか各学校の生徒指導・生活指導の基準等に準ずる

※ 帰沖とは沖縄 (自宅) に帰ること
- (4) きちんとした言葉づかいができること
 - ①ていねいな言葉遣い (です、ます) ②大人や先輩に「なれなれしく」はいけない
- (5) あいさつ・マナーがちゃんとしていること
 - ①礼儀正しいあいさつ ②自分から進んであいさつ ③公共の場でのマナーの徹底

※選手の「返事」のしかたや表情でその選手の「やる気」、「本気」などが見抜かれる

2. その他、特に気をつけること

- (1) 引率者や監督に無断で、「夜間 (22 時以降、又は決められた時間) の外出をしない」こと。
※万が一補導されたり、事件・事故に巻き込まれたりすると ①大会辞退、②参加取消し、③緊急帰沖 となることもある。(その選手は次回以降の県外対象選手から外れてもらう)
- (2) ボウリング場やホテル、その他 (空港やバス等) の公共施設などに迷惑のかからないようにすること。悪ふざけ、さわがしい、マナーが悪い等「苦情」がきて、所属学校や引率者、そして県ボウリング連盟、県高体連ボウリング専門部がその指導状況や体制を問われます。
- (3) 睡眠をしっかりとること。携帯電話は基本的に 22 時以降は使用しないこと。夜中まで携帯電話を使用すると睡眠不足や心身に影響があり競技パフォーマンスに影響する。
- (4) 万が一、体調不良や怪我などがある場合は引率者や監督に正直に相談をすること。健康保険証 (保険証カード、マイナンバーカードなど) も持参すること。
- (5) 県代表選手はつねに「ゆうパック伝票 (赤と青それぞれ)」を持っておくこと。ボールバッグや道具箱、荷物に伝票を常備しておきボールバッグ等の輸送手続きがスムーズにできること。

まわりの支えと協力があつての「大会参加」と「派遣」です、「感謝の気持ち」が大事！